



## 北ア槍穂 下丸山(1852m) (積雪期 ピークハント/縦走 / 槍・穂高・乗鞍)

by  
gekiyabu 

### 日程 :

2012年05月12日(日帰り)

### メンバー :

gekiyabu

### 天候 :

曇り時々雨、雪、たまに晴れ

### 地図 :



WEB SERVICES BY 

### 標高グラフ :

### コースタイム :

5:31 駐車場--5:52 ゲート--6:40 笠新道入口--6:52 ワサビ平小屋--7:20 小池新道分岐--7:51 奥丸沢--8:40 下丸山 9:22--9:29 1780m鞍部--9:41 奥丸山登山道--9:51 奥丸山登山口--9:56 小池新道分岐--10:13 ワサビ平小屋--10:24 笠新道入口--11:01 ゲート--11:15 駐車場

### コース状況/その他周辺情報 :

- ・ 中崎尾根奥丸山の西側にある山
- ・ 登山道はないが南側を奥丸山登山道が通り、藪漕ぎになっても距離は短い
- ・ 登山ポストは左俣林道にある
- ・ 左俣林道は除雪されておらず、穴毛谷へ通じる林道より先はデブリの押し出しが何箇所

所もある

- ・ワサビ平小屋付近は積雪。小屋はまだ営業していない
- ・下丸山西側を通る林道は完全に雪に埋もれる
- ・下丸山西氏斜面及び下丸沢は雪は見られなかったため奥丸沢から鞍部を目指すことにした
- ・奥丸沢左岸を歩いたら沢沿いの藪が出ていて雪の付いた猛烈な急斜面を登った。積雪で藪無し
- ・山頂はなだらかなシラビソ樹林。展望は悪い
- ・下山は東鞍部から下丸沢を下った。雪は少ないが沢は穏やかで無雪期でも見えそう
- ・奥丸山登山道に合流したところで登山道に乗り換える。立派な登山道

 写真：



新穂高無料駐車場



無料温泉施設は解体されていた



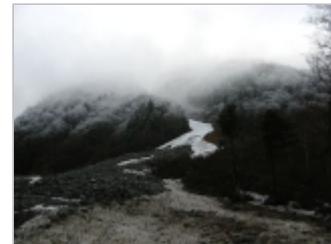
左俣林道ゲート



林道は除雪されていない



崖崩れ個所もあり



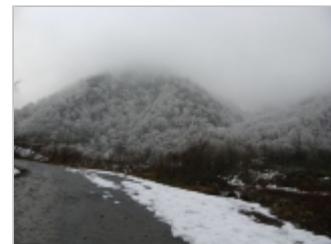
穴毛槍方面の新雪



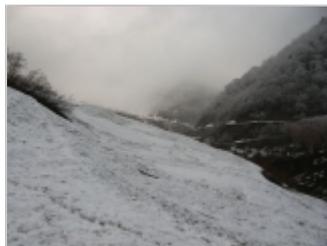
笠新道入口。この日ここに入った登山者あり



ワサビ平小屋



見えてきた下丸山



大きなデブリを越える



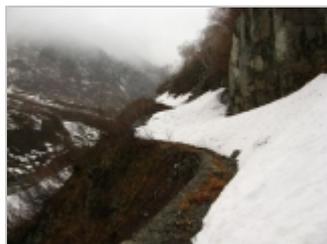
小池新道分岐。双六方面はこの先はずっと雪が続く



奥丸山方向は橋を渡る



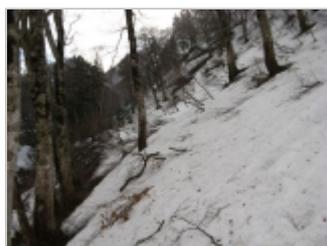
残雪を伝って林道をショートカット



林道上段に出る



奥丸沢



奥丸沢左岸



熊の足跡。大きさからして子供



予定変更で奥丸沢を離れて下丸山に直接登る



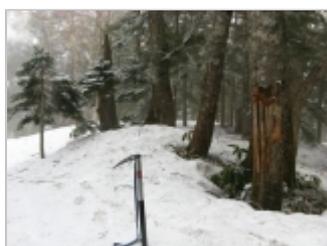
かなりの傾斜でアイゼンとピッケル必須



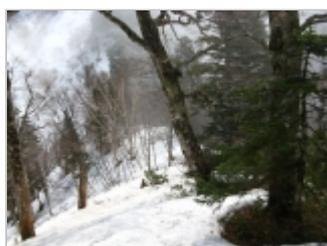
傾斜が緩む



もうすぐ山頂



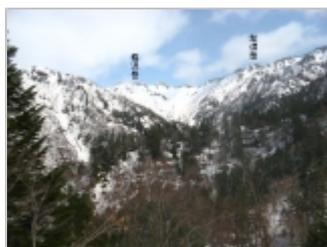
下丸山山頂



下丸山東鞍部へ向かう



下丸山東鞍部



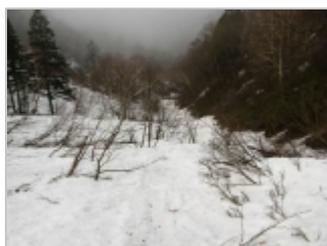
下丸山東鞍部から見た西鎌尾根。槍は雲の中



奥丸側はたっぷりの残雪



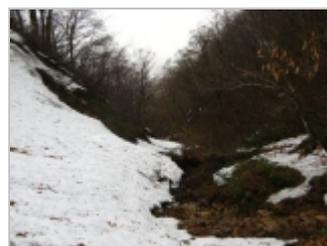
下丸沢側も雪はあるが少ない



下丸沢を下る



また熊の足跡。登りで見たのと同じ大きさ



標高1650mくらいで雪が消えるが水量少なく歩きやすい沢が続く



ほとんど雪なし



標高1570mで奥丸山登山道が沢を横断



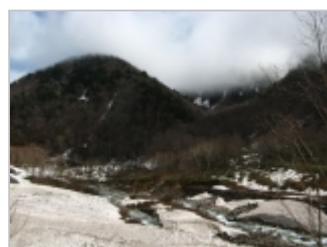
登山道に乗る。雪は消えていた



林道カーブが奥丸山登山口



小池新道方面。天気は回復傾向



下丸山も雲から脱出



すれ違った山スキーヤー



新穂高駐車場から見た穴毛

## 槍

感想／記録 : (by gekiyabu)

今週末は冬型の気圧配置で日本海側の悪天が予想されたが、この時期ではよほど標高が高い所以外では日本海側しか残雪はあり得ないので悪天覚悟で出かける。ただし、厳しいコースは無謀なので林道から近く日本海から比較的遠い下丸山を目指した。登山道があるとは思えず藪があるだろうが、左俣林道から近いので無雪期でも登れないことはないだろう。でも雪があった方が楽なのは間違いない。

大型連休翌週の週末は新穂高の無料駐車場はガラガラ。天候は朝から小雨で帰る車もちらほら見られるが、ザックを背負って出発する登山者の姿も。傘が不要か必要がギリギリ程度だし、天候は回復傾向なはずで長い林道歩きで天気が上向き可能性もあるので出発することに。駐車場付近は雪は皆無で下丸山付近に雪があるのか分からないが、アイゼンとピッケルをザックに入れて傘をさして出発。笠ヶ岳や穴毛槍は雲の中で見えない。旧村営有料駐車場の車はゼロ。

左俣林道のゲートを越えて林道歩きが続く。穴毛谷へ向かう林道を分岐してから残雪が見られるようになるが除雪した形跡はない。やがてデブリが林道を覆うようになるが危険なく横断できた。雪の上や湿った土の上に残った足跡はたぶん2人。笠新道より先で足跡は無くなっていたので笠新道に入ったようだ。その先は大規模なデブリが増えてきて先の様子が見えないが適当に巻いて水平移動。ワサビ平付近はデブリがなくても雪に覆われていた。穴毛槍の南斜面はある標高以上は木々が白くなっていて雪が降ったようだ。これも予想の範囲内。下丸山はガスの中。

大きなデブリを越えて小池新道分岐に到着。橋を渡ってなおも林道歩き。下丸山西斜面には雪は見られず下丸沢の残雪は期待できないと判断、山頂東側の奥丸沢なら雪がある可能性があるので予定より林道歩きが長くなるがさらに林道歩き。道がジグザグのところは残雪を利用してショートカット。北斜面に入ると残雪量が増えて林道の橋を歩いたり雪の斜面のトラバース。まだピッケル、アイゼンは不要なレベル。

奥丸沢周辺の斜面は雪が残り、藪漕ぎせずに済みそうだ。最初は左岸側を歩いたが右岸側が平坦になったところで渡渉、水量少なく渡るのは問題なし。左岸側がなだらかになったところで再び渡渉。そのまま左岸を進むもうとしたら小尾根を越えたら雪が無くなり藪が露出。沢に下って右岸を登る方法もあるが、上に見える斜面は雪が続いているので予定と異なるがこのまま北東斜面を登ることにした。かなりの急斜面なのでここで12本爪アイゼン装着。雪は締まって踏み抜き皆無。カモシカの足跡だけでなく今シーズン初めての熊の足跡を見た。小さめの足なので子供だと思う。

直線的に上を目指すのは厳しいのでジグザグに登っていく。斜面を見上げて凄いい傾

斜だが下を見ても凄い。これを下るのはヤダなあと思えるレベルだった。滑れば止まらない斜度だが痩せ尾根ではなく広い斜面なので恐怖感はない。少しでも棚のような場所を選んでジグザグを繰り返す。

やっと傾斜が緩むとシラビソ樹林に変わり、上を目指して緩く登る。なだらかな山頂部だが平坦ではなく、明瞭なピークがありそうだ。背の高いシラビソとダケカンバの樹林を登り上げると最高点到着。シラビソが何本がまとまって生えていて、その中の1本の枝に目印が付けられていた他は人工物無し。天気は回復傾向のようでいつのまにか薄日が差し、木の乗った新雪が溶けて雨のように落ちていた。頭上に木が無い開けた場所に移動して休憩。西鎌尾根方面のガスが切れて稜線が見えた時は夏道がはっきりと見えた。天気は不安定で日が当たるときもあれば雪が舞う時もある。

下山はショートカットのため下丸沢を下ることにして出発したが、何を間違えたか西に向かってしまい、地図を広げて方向を確認し山頂に逆戻りし東に下った。鞍部付近は少し藪が出ていたので北寄りに迂回しつつ最低鞍部に到着。北の奥丸沢方向はまだたっぷり雪が付いて藪の心配がないが、南の下丸沢方面は雪はあるが下丸山側の斜面は全く雪が無い。たぶん少し下ると谷間の雪も消えると思われる。安全策は奥丸沢を下ることだが遠回りになるのがもったいない。もし雪が消えていて藪が出ていても下りなら許容範囲と覚悟を決めて下丸沢側に下り始めた。

すぐに左からもっと大きな沢(雪に埋もれている)が合流、そちらに乗り換えて下り続ける。傾斜は緩く滝もなく淡々と下れる平凡な地形なので、無雪期でも使えそうだ。下丸山側の斜面は既に雪はなく、谷の真ん中より奥丸山側の斜面寄りを選んで歩くが、標高1650mくらいで谷沿いの雪が続かなくなったため水量が少ない沢を歩く。岩があるわけでもなく右岸左岸と歩きやすい方に移るのは簡単だった。やがて沢の中に×印がペイントされた石が登場、何でそんなものがあるんだ?と思ったら下丸山側に目印のリボンが登場、奥丸山へ続く登山道が下丸沢を横断する場所であった。奥丸山側斜面は残雪で夏道の存在は見えないが、下丸山側斜面は全く雪はなく夏道が出ていたので、これを辿って林道に戻ることにした。整備された立派な道で林道のヘアピンカーブに到着、登山口であった。

帰りの林道歩きでは双六方面に向かった足跡が増えていた。また、左俣谷にかかる橋のところでスキーを担いだ男性とすれ違う。スキーが使えるのは小池新道から先なので、駐車場から2時間もスキーを担いで歩かなければならないのも大変だ。天候は何故か山奥の方ほどいいようで、林道を下っていくと青空は消えて小雨が降り始めた。それでも天気の回復基調は変わらないようで駐車場に到着する頃には薄日が差すこともあった。駐車場ではこれから出発しようとしている登山者やクライマーの姿が複数あった。明日はいい天気になるといいな。

<http://www.yamareco.com/>